Goldman Sachs **Asset Management**

GSグローバルREITポートフォリオ(毎月分配型)

愛称:リートマスター

追加型投信/内外/不動産投信

第109期末(2016年5月9日)		第104期～第109期	
基準価額	6,473円	騰落率	-3.76%
純資産総額	8,982百万円	分配金合計	120円

(注)騰落率は収益分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

■本ファンドの仕組みは次のとおりです。

商品分類	追加型投信/内外/不動産投信
信託期間	原則として無期限
運用方針	日本を含む世界各国の証券取引所に上場されている不動産投資信託(リート)に分散投資を通じた、高水準のインカム・ゲインの獲得と長期的な元本の成長によって、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。
主要投資対象	
本ファンド	GSグローバルREITポートフォリオ マザーファンドの受益証券
GSグローバルREITポートフォリオ マザーファンド	日本を含む世界各国の証券取引所に上場されているリート
運用方法・組入制限	①主としてマザーファンドの受益証券に投資し、原則として、その組入比率は高位に保ちます。 ②実質外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。 ③本ファンド及びマザーファンドにおける組入制限は下記のとおりです。 ・投資信託証券および短期金融商品以外の有価証券への直接投資は行いません。 ・外貨建資産への投資割合には特に制限を設けません。
分配方針	原則として毎計算期末(毎月8日。休業日の場合は翌営業日。)に収益の分配を行います。投信会社が経費控除後の利子・配当等収益および売買損益(評価損益を含みます。)等の中から基準価額水準、市場動向等を勘案して分配金を決定します。

第104期(決算日2015年12月８日)
第105期(決算日2016年１月８日)
第106期(決算日2016年２月８日)
第107期(決算日2016年３月８日)
第108期(決算日2016年４月８日)
第109期(決算日2016年５月９日)
作成対象期間:2015年11月10日～2016年5月9日

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、「GSグローバルREITポートフォリオ(毎月分配型)(愛称 リートマスター)」は、このたび、第104期～第109期の決算を行いました。本ファンドは、日本を含む世界各国のリートに分散投資を行うことにより、高水準のインカム・ゲインの獲得を図りつつ、信託財産の成長を目指して運用を行っております。今期の運用経過等について、以下のとおりご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント
〒106-6147 東京都港区六本木6-10-1 六本木ヒルズ森タワー
お問合せ先:03-6437-6000(代表)
受付時間:営業日の午前9時～午後5時
www.gsam.co.jp

■最近５作成期の運用実績

	決算期	基準価額（分配落）	税引前分配金	期中騰落率	参考指標	期中騰落率	投資信託証券比率	純資産総額
		円	円	%		%	%	百万円
①	80期（2013年12月９日）	5,714	20	0.7	7,662	1.9	99.1	11,774
	81期（2014年１月８日）	5,814	20	2.1	7,835	2.3	98.7	11,553
	82期（2014年２月10日）	5,708	20	△ 1.5	7,783	△ 0.7	98.6	11,250
	83期（2014年３月10日）	5,980	20	5.1	8,104	4.1	98.9	11,663
	84期（2014年４月８日）	5,952	20	△ 0.1	8,175	0.9	98.8	11,357
	85期（2014年５月８日）	6,148	20	3.6	8,476	3.7	98.7	11,736
②	86期（2014年６月９日）	6,406	20	4.5	8,761	3.4	99.2	11,990
	87期（2014年７月８日）	6,313	20	△ 1.1	8,731	△ 0.3	99.1	11,602
	88期（2014年８月８日）	6,212	20	△ 1.3	8,684	△ 0.5	98.5	11,279
	89期（2014年９月８日）	6,543	20	5.7	9,218	6.2	98.9	11,608
	90期（2014年10月８日）	6,224	20	△ 4.6	8,920	△ 3.2	99.2	10,855
	91期（2014年11月10日）	6,798	20	9.5	9,885	10.8	99.4	11,554
③	92期（2014年12月８日）	7,259	20	7.1	10,533	6.5	98.6	12,101
	93期（2015年１月８日）	7,315	20	1.0	10,773	2.3	97.8	11,751
	94期（2015年２月９日）	7,538	20	3.3	10,871	0.9	98.4	11,982
	95期（2015年３月９日）	7,390	20	△ 1.7	10,745	△ 1.2	98.2	11,637
	96期（2015年４月８日）	7,462	20	1.2	11,052	2.9	99.7	11,537
	97期（2015年５月８日）	7,210	20	△ 3.1	10,833	△ 2.0	99.0	11,003
④	98期（2015年６月８日）	7,338	20	2.1	10,827	△ 0.1	99.4	11,035
	99期（2015年７月８日）	7,052	20	△ 3.6	10,396	△ 4.0	98.8	10,458
	100期（2015年８月10日）	7,304	20	3.9	11,012	5.9	98.4	10,712
	101期（2015年９月８日）	6,367	20	△12.6	9,814	△10.9	98.5	9,221
	102期（2015年10月８日）	6,786	20	6.9	10,453	6.5	99.0	9,783
	103期（2015年11月９日）	6,852	20	1.3	10,554	1.0	98.6	9,862
⑤	104期（2015年12月８日）	6,836	20	0.1	10,709	1.5	97.9	9,749
	105期（2016年１月８日）	6,382	20	△ 6.3	9,983	△ 6.8	98.6	8,973
	106期（2016年２月８日）	6,374	20	0.2	9,797	△ 1.9	98.6	8,858
	107期（2016年３月８日）	6,348	20	△ 0.1	10,088	3.0	98.9	8,806
	108期（2016年４月８日）	6,335	20	0.1	10,291	2.0	98.8	8,542
	109期（2016年５月９日）	6,473	20	2.5	10,573	2.7	98.5	8,982

（注１）基準価額の騰落率は分配金込み。
（注２）参考指標（S&P先進国リート・インデックス（除く米国、トータル・リターン、円ベース）とS&P先進国リート・インデックス（トータル・リターン、円ベース）を１対１の割合で合成したもの）は、2007年２月22日を10,000として指数化しております。
（注３）本ファンドはマザーファンドを組入れますので、投資信託証券比率は、実質比率を記載しております。

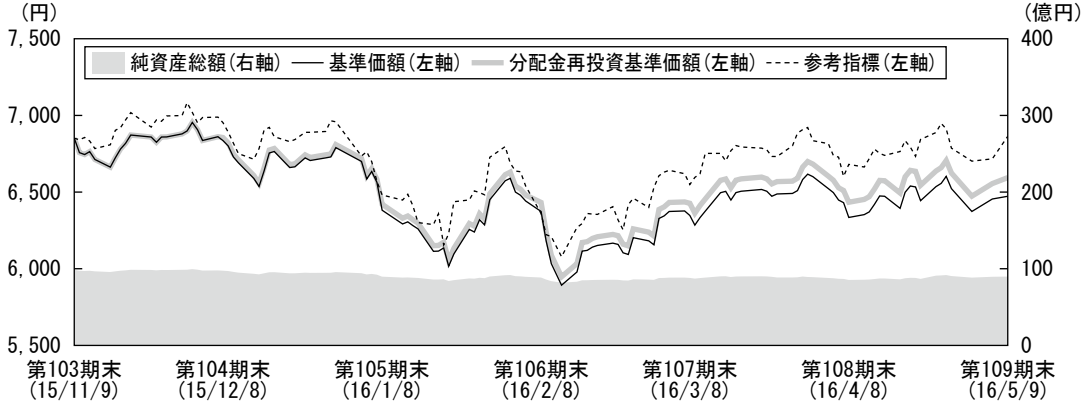
■過去６ヶ月間の基準価額と市況推移

決算期	年　　月　　日	基準価額	騰落率	参考指標	騰落率	投資信託証券比率
		円	%		%	%
第104期	（期　首）2015年11月９日	6,852	－	10,554	－	98.6
	11月末	6,880	0.4	10,781	2.1	98.3
	（期　末）2015年12月８日	6,856	0.1	10,709	1.5	97.9
第105期	（期　首）2015年12月８日	6,836	－	10,709	－	97.9
	12月末	6,790	△0.7	10,598	△1.0	98.7
	（期　末）2016年１月８日	6,402	△6.3	9,983	△6.8	98.6
第106期	（期　首）2016年１月８日	6,382	－	9,983	－	98.6
	１月末	6,450	1.1	10,361	3.8	98.9
	（期　末）2016年２月８日	6,394	0.2	9,797	△1.9	98.6
第107期	（期　首）2016年２月８日	6,374	－	9,797	－	98.6
	２月末	6,182	△3.0	9,858	0.6	98.1
	（期　末）2016年３月８日	6,368	△0.1	10,088	3.0	98.9
第108期	（期　首）2016年３月８日	6,348	－	10,088	－	98.9
	３月末	6,617	4.2	10,661	5.7	98.6
	（期　末）2016年４月８日	6,355	0.1	10,291	2.0	98.8
第109期	（期　首）2016年４月８日	6,335	－	10,291	－	98.8
	４月末	6,523	3.0	10,301	0.1	98.3
	（期　末）2016年５月９日	6,493	2.5	10,573	2.7	98.5

（注１）期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。
（注２）参考指標（S&P先進国リート・インデックス（除く米国、トータル・リターン、円ベース）とS&P先進国リート・インデックス（トータル・リターン、円ベース）を１対１の割合で合成したもの）は、2007年２月22日を10,000として指数化しております。
（注３）本ファンドはマザーファンドを組入れますので、投資信託証券比率は、実質比率を記載しております。

運用経過

■基準価額等の推移について（2015年11月10日～2016年５月９日）



第104期首：6,852円
第109期末：6,473円
（当作成期中にお支払いした分配金：120円）
騰落率：－3.76%（分配金再投資ベース）

（注１）参考指標はS&P先進国リート・インデックス（除く米国、トータル・リターン、円ベース）とS&P先進国リート・インデックス（トータル・リターン、円ベース）を１対１の割合で合成した指数であり、投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として記載しています。
（注２）分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
（注３）実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なるため、お客さまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。
（注４）分配金再投資基準価額、参考指標は、当作成期（以下、「当期」といいます。）の期首の基準価額を起点として指数化しています。

■基準価額の主な変動要因

本ファンドの基準価額は、期首の6,852円から379円下落し、期末には6,473円となりました。

上昇要因

世界リート市場（現地通貨ベース）が上昇したことなどが基準価額の上昇要因となりました。また、投資銘柄のうち、ナショナル・リテール・プロパティーズ、ＥＰＲプロパティーズ、日本リテールファンド投資法人が保有期間中に上昇したことも、基準価額の上昇要因となりました。

下落要因

投資銘柄のうち、ブリティッシュ・ランド・カンパニー、ハマーソン、ケンブリッジ・インダストリアル・トラストが保有期間中に下落したことなどが基準価額の下落要因となりました。また、主要通貨に対して軒並み円高が進行したことや、分配金をお支払いしたことも基準価額の下落要因となりました。

■投資環境について

＜世界リート市場＞

当期の世界リート市場は上昇しました。期初から2015年末にかけては、主要国の金融政策動向などに左右されながらも緩やかに上昇しましたが、2016年に入ると、中国の景気減速懸念や原油価格の下落などを背景に投資家のリスク回避姿勢が強まり、下落しました。２月中旬以降は、原油価格が底打ちし上昇基調に転じたことに加え、日本や欧州などの長期金利が低水準で推移したことや、中国の景気に対する過度な懸念が後退し投資家心理が改善したことなどを背景に上昇基調での推移となり、結局、前期末を上回る水準で期を終えました。

＜外国為替市場＞

当期の外国為替市場では、米ドルをはじめ主要通貨対して軒並み円高が進みました。

中国経済の先行き懸念や原油価格の下落などを背景に世界的に株式市場が下落したことなどを受け、相対的に安全資産とされる円の需要が高まったことや、米国の利上げペースが緩やかになるとの観測などを受けて期初から米ドルに対して概ね円高傾向となり、期を通じても円高が進行する結果となりました。ユーロは、市場におけるＥＣＢ（欧州中央銀行）の追加緩和期待が高まるなか、対円で下落して始まりました。その後、ＥＣＢが発表した追加金融緩和策の内容が市場の期待を下回り、対円で上昇する局面などもありましたが、市場におけるＥＣＢに対する追加緩和期待は根強く、期の中盤まで対円で概ね下落基調で推移しました。期の終盤には、ドラギＥＣＢ総裁が追加利下げに対して慎重な姿勢を示したことなどから対円で上昇する局面もありましたが、結局、前期末比で円高ユーロ安となる水準で期を終えました。

■ポートフォリオについて

＜本ファンド＞

本ファンドはＧＳグローバルＲＥＩＴポートフォリオ マザーファンドを概ね高位に組入れ、日本を含む世界各国の金融商品取引所に上場されているリートに分散投資を行うことにより、高水準のインカム・ゲインの獲得を図りつつ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行いました。

＜本マザーファンド＞

世界各国のリートに分散投資を行い、安定した配当収入の確保と信託財産の成長をめざしました。

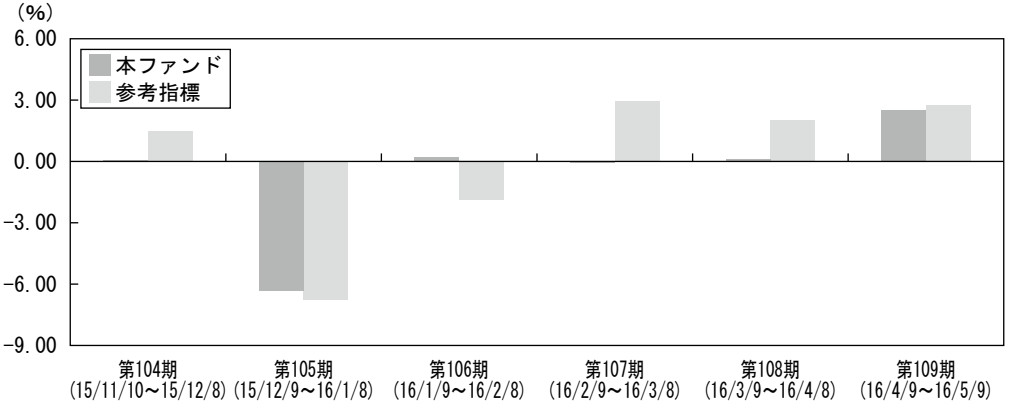
本マザーファンドの配当利回りが市場平均を上回るようポートフォリオ運営を継続しました。ポートフォリオの配当利回りを確保するため、米国の優先証券の組入れを継続しました。その結果、2016年４月末の本マザーファンドの配当利回りは5.1％となりました。

当期の主な国・地域別配分については、各市場のファンダメンタルズ（基礎的諸条件）やバリュエーションなどを勘案し、大陸欧州などを概ねオーバーウェイトとし、オーストラリアや英国などを概ねアンダーウェイトとしました。業種配分では医療・介護施設セクターのオーバーウェイトなどがプラス寄与となりました。個別銘柄では、ナショナル・リテール・プロパティーズ、ＥＰＲプロパティーズが保有期間中に上昇したことなどがプラス寄与となりました。一方、業種配分ではオフィスセクターのアンダーウェイトなどがマイナス寄与となりました。また個別銘柄では、ブリティッシュ・ランド・カンパニー、ハマーソンが保有期間中に下落したことなどがマイナス寄与となりました。

■ベンチマークとの差異について

本ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。以下のグラフは、本ファンドの基準価額と参考指標の騰落率の対比です。

＜当期の基準価額と参考指標の対比（騰落率）＞



（注）基準価額の騰落率は収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

当期の本ファンドのパフォーマンス（分配金再投資ベース）は－3.76％となった一方、参考指標のパフォーマンスは＋0.18％となりました。

■分配金について

収益分配金（１万口当たり、税引前）については、分配方針および基準価額の水準などを勘案し、第104期から第109期は各20円としました。収益分配金に充てなかった収益については、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用を行います。

今後の運用方針について

＜本ファンド＞

今後も引き続き本マザーファンド受益証券を概ね高位に組入れ、日本を含む世界各国の金融商品取引所に上場されているリートに分散投資を行うことにより、高水準のインカム・ゲインの獲得を図りつつ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。

＜本マザーファンド＞

引き続き世界各国のリートに分散投資を行い、安定した配当収入の確保と信託財産の成長をめざします。

今後のリート市場の成長率は、従来と比較すると緩やかになると予想されますが、世界の不動産市況と需給環境は概ね良好であることなどから、今後も底堅く推移すると思われます。また、世界的に総じて低金利環境が続くなか、相対的に高い利回りを求め資金が引き続きリート市場に流入しており、同市場を下支えしています。とりわけ、米国経済に幅広く回復が見られることなどから、米国リート市場の見通しは明るいと考えています。当社は優良物件の賃料と価格は上昇すると予想しており、好立地に物件を構えるリートについては、賃料の上昇に伴い収益の改善による内部成長が見込まれます。主要先進国において概ね緩和的な金融政策が継続しているなか、今後もリート市場の利回りは総じて長期金利を上回る展開が考えられます。また、リートを対象にしたＭ＆Ａ（企業の合併・買収）が世界的に活発化していることもプラス材料と見ています。一方、最近では他の資産クラスと比べて、リート市場は金融市場やマクロ経済動向から相対的に大きな影響を受ける傾向が見られます。このため、米国をはじめとする世界の金利や、原油をはじめとする商品市況の動向などが懸念材料となれば、短期的に市場のボラティリティ（価格変動率）が上昇する展開が予想されます。

（上記見通しは2016年５月９日現在のものであり、今後、見通しは変更される可能性があります。）

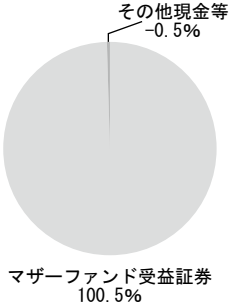
本ファンドのデータ

■本ファンドの組入資産の内容（2016年５月９日現在）

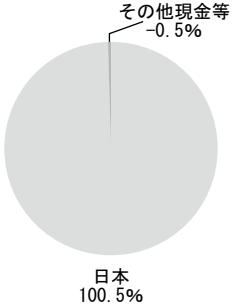
○組入れファンド　（組入銘柄数：１銘柄）

ファンド名	比率
ＧＳグローバルＲＥＩＴポートフォリオ マザーファンド	100.5%

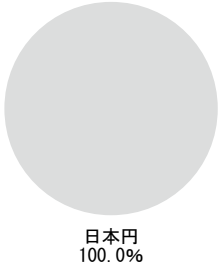
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



（注）上記の比率は全て本ファンドの純資産総額に対する割合です。

■組入上位ファンドの概要

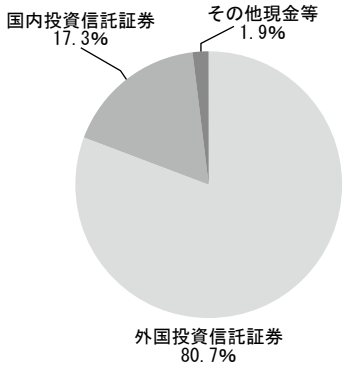
ＧＳグローバルＲＥＩＴポートフォリオ マザーファンド（2016年５月９日現在）

〇組入上位10銘柄

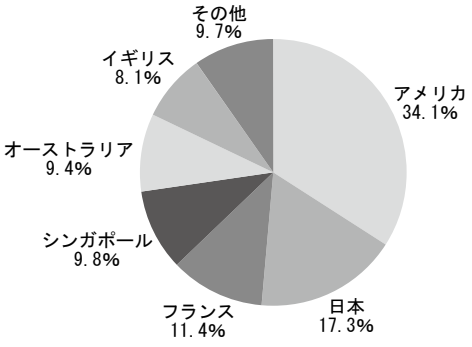
（組入銘柄数：47銘柄）

	銘柄	国	比率
1	ナショナル・リテール・プロパティーズ	アメリカ	7.6%
2	ＥＰＲプロパティーズ	アメリカ	5.2%
3	クレピエール	フランス	4.9%
4	リバティー・プロパティ・トラスト	アメリカ	4.5%
5	フォンシエール・デ・レジオン	フランス	3.7%
6	ブリティッシュ・ランド・カンパニー	イギリス	3.5%
7	ケネディクス商業リート投資法人	日本	3.3%
8	コンフォリア・レジデンシャル投資法人	日本	2.9%
9	ウニベイル・ロダムコ	フランス	2.8%
10	チャーター・ホール・グループ	オーストラリア	2.8%

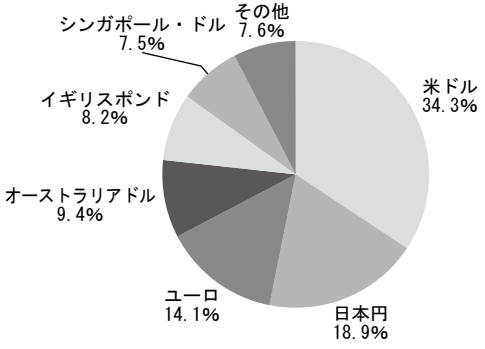
〇資産別配分



〇国別配分



〇通貨別配分



（注１）組入上位10銘柄、資産別配分、国別配分、通貨別配分のデータは組入れファンドの直近の決算日時点のものです。
（注２）上記の比率は全て組入れファンドの純資産総額に対する割合です。

■１万口当たりの費用明細

項目	第104期～第109期 2015年11月10日～2016年５月９日 金額	比率	項目の概要
信託報酬	56円	0.849%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（投信会社）	(26)	(0.403)	ファンドの運用、受託会社への指図、基準価額の算出、目論見書・運用報告書等の作成等の対価
（販売会社）	(26)	(0.403)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、分配金・換金代金・償還金の支払い業務等の対価
（受託会社）	(3)	(0.043)	ファンドの財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
売買委託手数料	6	0.095	有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（投資信託証券）	(6)	(0.095)	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数
有価証券取引税	1	0.017	有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（投資信託証券）	(1)	(0.017)	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数
その他費用	2	0.033	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（保管費用）	(1)	(0.008)	海外資産等の海外保管銀行等に支払う保管・送金・受渡に係る費用
（監査費用）	(1)	(0.009)	監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（その他）	(1)	(0.016)	法律顧問・税務顧問への報酬、印刷費用、郵送費用、公告費用、格付費用、証拠金利息の調整金額、支払外国税等
合計	65	0.994	
期中の平均基準価額は6,573円です。			

（注１）期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、本ファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、本ファンドに対応するものを含みます。
（注２）金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
（注３）比率欄は「１万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買及び取引の状況（2015年11月10日から2016年５月９日まで）
親投資信託受益証券の設定、解約状況

決算期	第104期～第109期			
	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
	千口	千円	千口	千円
ＧＳグローバルＲＥＩＴポートフォリオ　マザーファンド	288,667	380,290	735,199	972,117

■利害関係人との取引状況等（2015年11月10日から2016年５月９日まで）

利害関係人との取引はありません。

（注）利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第１項に規定される利害関係人です。

■組入資産の明細（2016年５月９日現在）

親投資信託残高

種類	第103期末	第109期末	
	口数	口数	評価額
	千口	千口	千円
GSグローバルREIT ポートフォリオ マザーファンド	7,241,295	6,794,763	9,023,445

■投資信託財産の構成　　2016年５月９日現在

項目	第109期末	
	評価額	比率
	千円	%
GSグローバルREIT ポートフォリオ マザーファンド	9,023,445	100.0
コール・ローン等、その他	624	0.0
投資信託財産総額	9,024,069	100.0

（注１）ＧＳグローバルＲＥＩＴ　ポートフォリオ　マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（8,060,754千円）の投資信託財産総額（9,934,750千円）に対する比率は81.1％です。

（注２）外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により、邦貨換算したものです。なお決算日における邦貨換算レートは１米ドル＝107.45円、１カナダドル＝83.00円、１ユーロ＝122.29円、１英ポンド＝154.87円、１オーストラリアドル＝79.14円、１ニュージーランドドル＝73.44円、１香港ドル＝13.85円、１シンガポールドル＝78.79円です。

■資産、負債、元本及び基準価額の状況

項目	第104期末	第105期末	第106期末	第107期末	第108期末	第109期末
	2015年12月８日	2016年１月８日	2016年２月８日	2016年３月８日	2016年４月８日	2016年５月９日
(A) 資産	**9,807,811,861円**	**9,018,243,547円**	**8,902,093,699円**	**8,849,808,574円**	**8,586,236,305円**	**9,024,069,718円**
ＧＳグローバルＲＥＩＴ ポートフォリオ マザーファンド(評価額)	9,792,052,752	9,015,183,766	8,899,725,611	8,845,978,628	8,582,856,224	9,023,445,428
未収入金	15,759,109	3,059,781	2,368,088	3,829,946	3,380,081	624,290
(B) 負債	**57,868,346**	**45,239,699**	**43,266,961**	**43,457,138**	**43,576,728**	**41,491,455**
未払収益分配金	28,523,672	28,117,583	27,794,754	27,745,791	26,969,898	27,754,597
未払解約金	15,759,109	3,059,781	2,368,088	3,829,946	3,380,081	624,290
未払信託報酬	13,238,688	13,703,284	12,769,535	11,578,036	12,889,035	12,777,769
その他未払費用	346,877	359,051	334,584	303,365	337,714	334,799
(C) 純資産総額(A－B)	**9,749,943,515**	**8,973,003,848**	**8,858,826,738**	**8,806,351,436**	**8,542,659,577**	**8,982,578,263**
元本	14,261,836,133	14,058,791,901	13,897,377,309	13,872,895,799	13,484,949,174	13,877,298,849
次期繰越損益金	△ 4,511,892,618	△ 5,085,788,053	△ 5,038,550,571	△ 5,066,544,363	△ 4,942,289,597	△ 4,894,720,586
(D) 受益権総口数	**14,261,836,133口**	**14,058,791,901口**	**13,897,377,309口**	**13,872,895,799口**	**13,484,949,174口**	**13,877,298,849口**
1万口当たり基準価額(C／D)	**6,836円**	**6,382円**	**6,374円**	**6,348円**	**6,335円**	**6,473円**

（注）当作成期首元本額は14,392,274,710円、当作成期間（第104期～第109期）中において、追加設定元本額は588,334,370円、同解約元本額は1,103,310,231円です。

■損益の状況

項目	第104期	第105期	第106期	第107期	第108期	第109期
	自 2015年11月10日 至 2015年12月８日	自 2015年12月９日 至 2016年１月８日	自 2016年１月９日 至 2016年２月８日	自 2016年２月９日 至 2016年３月８日	自 2016年３月９日 至 2016年４月８日	自 2016年４月９日 至 2016年５月９日
(A) 有価証券売買損益	**19,450,170円**	**△ 595,720,294円**	**29,799,755円**	**3,008,123円**	**22,582,046円**	**227,038,438円**
売買益	27,292,625	2,959,350	41,907,018	13,480,405	31,102,715	229,438,627
売買損	△ 7,842,455	△ 598,679,644	△ 12,107,263	△ 10,472,282	△ 8,520,669	△ 2,400,189
(B) 信託報酬等	**△ 13,585,565**	**△ 14,062,335**	**△ 13,104,119**	**△ 11,881,401**	**△ 13,226,749**	**△ 13,112,568**
(C) 当期損益金(A＋B)	**5,864,605**	**△ 609,782,629**	**16,695,636**	**△ 8,873,278**	**9,355,297**	**213,925,870**
(D) 前期繰越損益金	**81,222,899**	**57,612,324**	**△ 572,977,066**	**△ 582,241,774**	**△ 600,529,892**	**△ 614,289,820**
(E) 追加信託差損益金	**△4,570,456,450**	**△4,505,500,165**	**△4,454,474,387**	**△4,447,683,520**	**△4,324,145,104**	**△4,466,602,039**
(配当等相当額)	(237,265,668)	(236,100,245)	(234,726,722)	(235,894,361)	(231,084,910)	(274,939,555)
(売買損益相当額)	(△4,807,722,118)	(△4,741,600,410)	(△4,689,201,109)	(△4,683,577,881)	(△4,555,230,014)	(△4,741,541,594)
(F) 計(C＋D＋E)	**△4,483,368,946**	**△5,057,670,470**	**△5,010,755,817**	**△5,038,798,572**	**△4,915,319,699**	**△4,866,965,989**
(G) 収益分配金	**△ 28,523,672**	**△ 28,117,583**	**△ 27,794,754**	**△ 27,745,791**	**△ 26,969,898**	**△ 27,754,597**
次期繰越損益金(F＋G)	**△4,511,892,618**	**△5,085,788,053**	**△5,038,550,571**	**△5,066,544,363**	**△4,942,289,597**	**△4,894,720,586**
追加信託差損益金	△4,570,456,450	△4,505,500,165	△4,454,474,387	△4,447,683,520	△4,324,145,104	△4,466,602,039
(配当等相当額)	(237,283,338)	(236,219,560)	(234,801,535)	(235,912,893)	(231,175,270)	(276,710,008)
(売買損益相当額)	(△4,807,739,788)	(△4,741,719,725)	(△4,689,275,922)	(△4,683,596,413)	(△4,555,320,374)	(△4,743,312,047)
分配準備積立金	1,092,046,474	1,091,758,050	1,092,353,262	1,067,851,540	1,048,256,995	1,062,002,577
繰越損益金	△1,033,482,642	△1,672,045,938	△1,676,429,446	△1,686,712,383	△1,666,401,488	△1,490,121,124

（注１）損益の状況の中で**(A)有価証券売買損益**は期末の評価換えによるものを含みます。
（注２）損益の状況の中で**(B)信託報酬等**には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
（注３）損益の状況の中で**(E)追加信託差損益金**とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差引いた差額分をいいます。
（注４）収益分配金の計算過程において、マザーファンドの配当等収益を繰入れております。

■分配金のお知らせ

決　　算　　期	第 104 期	第 105 期	第 106 期	第 107 期	第 108 期	第 109 期
１万口当たり分配金	20円	20円	20円	20円	20円	20円

◇分配金には、課税扱いとなる普通分配金と、非課税扱いとなる元本払戻金（特別分配金）があります。
◇分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は、下回る部分に相当する金額が元本払戻金（特別分配金）、残りの部分が普通分配金となります。
◇税率は、個人の受益者については原則20.315％（所得税15.315％、地方税５％）です。
◇税法が改正された場合等には、上記内容が変更になる場合もあります。

■分配原資の内訳　　（単位：円・％、１万口当たり・税引前）

項　　目	第 104 期	第 105 期	第 106 期	第 107 期	第 108 期	第 109 期
	2015年11月10日～2015年12月８日	2015年12月９日～2016年１月８日	2016年１月９日～2016年２月８日	2016年２月９日～2016年３月８日	2016年３月９日～2016年４月８日	2016年４月９日～2016年５月９日
当期分配金	20	20	20	20	20	20
（対基準価額比率）	0.292	0.312	0.313	0.314	0.315	0.308
当期の収益	2	20	20	4	20	20
当期の収益以外	17	－	－	15	－	－
翌期繰越分配対象額	932	944	954	939	948	964

（注１）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
（注２）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税引前）に合致しない場合があります。
（注３）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

Goldman Sachs Asset Management

運用報告書（全体版）

GSグローバルREIT ポートフォリオ マザーファンド

親投資信託

第19期（決算日2016年５月９日）

作成対象期間：2015年11月10日～2016年５月９日

■本ファンドの仕組みは次のとおりです。

商品分類	親投資信託
信託期間	原則として無期限
運用方針	日本を含む世界各国の証券取引所に上場されている不動産投資信託（リート）に分散投資を行うことにより、高水準のインカム・ゲインの獲得を図りつつ、長期的な元本の成長を目指します。外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行わず、S＆P先進国リート・インデックス（除く米国、トータル・リターン、円ベース）とS＆P先進国リート・インデックス（トータル・リターン、円ベース）を1対1の割合で合成したものを運用上の参考指標とします。
主要投資対象	日本を含む世界各国の証券取引所に上場されているリート
組入制限	①投資信託証券および短期金融商品以外の有価証券への直接投資は行いません。 ②外貨建資産への投資については、特に制限を設けません。

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
法令・諸規則に基づき、親投資信託（マザーファンド）の期中の運用状況をご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント
〒106-6147 東京都港区六本木6-10-1 六本木ヒルズ森タワー
お問合せ先：03-6437-6000（代表）
受付時間：営業日の午前9時～午後5時
www.gsam.co.jp

■最近５期の運用実績

決算期	基準価額	期中騰落率	参考指標	期中騰落率	投資信託証券比率	純資産総額
	円	%		%	%	百万円
15期（2014年５月８日）	11,348	11.1	8,476	12.7	98.2	13,135
16期（2014年11月10日）	12,896	13.6	9,885	16.6	99.0	12,848
17期（2015年５月８日）	14,021	8.7	10,833	9.6	98.6	12,094
18期（2015年11月９日）	13,680	△ 2.4	10,554	△ 2.6	98.2	10,802
19期（2016年５月９日）	13,280	△ 2.9	10,573	0.2	98.1	9,934

（注）参考指標（S&P先進国リート・インデックス（除く米国、トータル・リターン、円ベース）とS&P先進国リート・インデックス（トータル・リターン、円ベース）を１対１の割合で合成したもの）は、2007年２月22日を10,000として指数化しております。

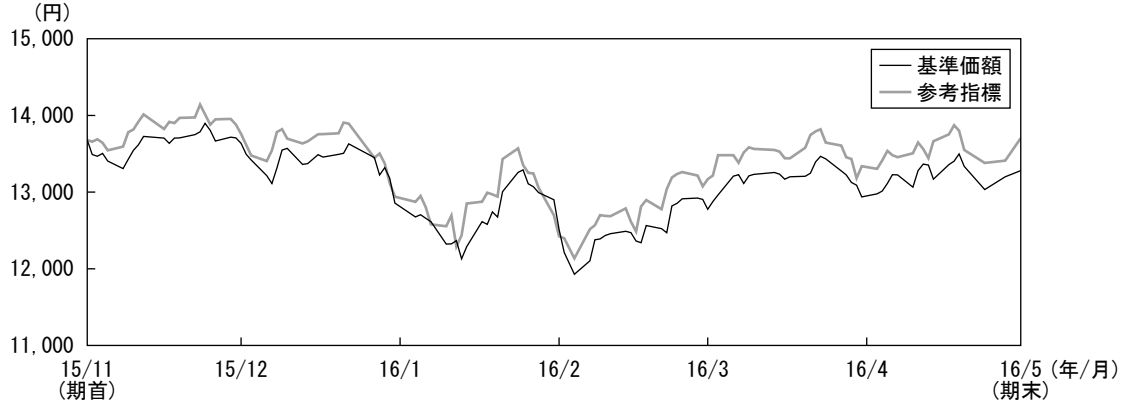
■当期中の基準価額と市況推移

年月日	基準価額	騰落率	参考指標	騰落率	投資信託証券比率
（期首）	円	%		%	%
2015年11月９日	13,680	―	10,554	―	98.2
11月末	13,749	0.5	10,781	2.1	98.2
12月末	13,629	△0.4	10,598	0.4	98.6
2016年１月末	13,006	△4.9	10,361	△1.8	98.8
２月末	12,523	△8.5	9,858	△6.6	98.0
３月末	13,466	△1.6	10,661	1.0	98.5
４月末	13,335	△2.5	10,301	△2.4	98.2
（期末）					
2016年５月９日	13,280	△2.9	10,573	0.2	98.1

（注１）騰落率は期首比です。
（注２）参考指標（S&P先進国リート・インデックス（除く米国、トータル・リターン、円ベース）とS&P先進国リート・インデックス（トータル・リターン、円ベース）を１対１の割合で合成したもの）は、2007年２月22日を10,000として指数化しております。

運用経過

■基準価額等の推移について（2015年11月10日～2016年５月９日）



（注１）参考指標はＳ＆Ｐ先進国リート・インデックス（除く米国、トータル・リターン、円ベース）とＳ＆Ｐ先進国リート・インデックス（トータル・リターン、円ベース）を１対１の割合で合成した指数であり、投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として記載しています。
（注２）参考指標は、期首の基準価額を起点として指数化しています。

■基準価額の主な変動要因

本ファンドの基準価額は、期首の13,680円から400円下落し、期末には13,280円となりました。

上昇要因

世界リート市場（現地通貨ベース）が上昇したことなどが基準価額の上昇要因となりました。また、投資銘柄のうち、ナショナル・リテール・プロパティーズ、ＥＰＲプロパティーズ、日本リテールファンド投資法人が保有期間中に上昇したことも、基準価額の上昇要因となりました。

下落要因

投資銘柄のうち、ブリティッシュ・ランド・カンパニー、ハマーソン、ケンブリッジ・インダストリアル・トラストが保有期間中に下落したことなどが基準価額の下落要因となりました。また、主要通貨に対して軒並み円高が進行したことも基準価額の下落要因となりました。

■投資環境について

＜世界リート市場＞

当期の世界リート市場は上昇しました。期初から2015年末にかけては、主要国の金融政策動向などに左右されながらも緩やかに上昇しましたが、2016年に入ると、中国の景気減速懸念や原油価格の下落などを背景に投資家のリスク回避姿勢が強まり、下落しました。２月中旬以降は、原油価格が底打ちし上昇基調に転じたことに加え、日本や欧州などの長期金利が低水準で推移したことや、中国の景気に対す

る過度な懸念が後退し投資家心理が改善したことなどを背景に上昇基調での推移となり、結局、前期末を上回る水準で期を終えました。

＜外国為替市場＞

当期の外国為替市場では、米ドルをはじめ主要通貨対して軒並み円高が進みました。

中国経済の先行き懸念や原油価格の下落などを背景に世界的に株式市場が下落したことなどを受け、相対的に安全資産とされる円の需要が高まったことや、米国の利上げペースが緩やかになるとの観測などを受けて期初から米ドルに対して概ね円高傾向となり、期を通じても円高が進行する結果となりました。ユーロは、市場におけるＥＣＢ（欧州中央銀行）の追加緩和期待が高まるなか、対円で下落して始まりました。その後、ＥＣＢが発表した追加金融緩和策の内容が市場の期待を下回り、対円で上昇する局面などもありましたが、市場におけるＥＣＢに対する追加緩和期待は根強く、期の中盤まで対円で概ね下落基調で推移しました。期の終盤には、ドラギＥＣＢ総裁が追加利下げに対して慎重な姿勢を示したことなどから対円で上昇する局面もありましたが、結局、前期末比で円高ユーロ安となる水準で期を終えました。

■ポートフォリオについて

世界各国のリートに分散投資を行い、安定した配当収入の確保と信託財産の成長をめざしました。

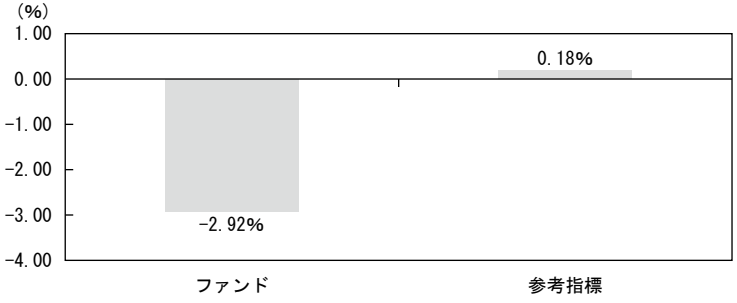
本ファンドの配当利回りが市場平均を上回るようポートフォリオ運営を継続しました。ポートフォリオの配当利回りを確保するため、米国の優先証券の組入れを継続しました。その結果、2016年４月末の本ファンドの配当利回りは5.1％となりました。

当期の主な国・地域別配分については、各市場のファンダメンタルズ（基礎的諸条件）やバリュエーションなどを勘案し、大陸欧州などを概ねオーバーウェイトとし、オーストラリアや英国などを概ねアンダーウェイトとしました。業種配分では医療・介護施設セクターのオーバーウェイトなどがプラス寄与となりました。個別銘柄では、ナショナル・リテール・プロパティーズ、ＥＰＲプロパティーズが保有期間中に上昇したことなどがプラス寄与となりました。一方、業種配分ではオフィスセクターのアンダーウェイトなどがマイナス寄与となりました。また個別銘柄では、ブリティッシュ・ランド・カンパニー、ハマーソンが保有期間中に下落したことなどがマイナス寄与となりました。

■ベンチマークとの差異について

本ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。以下のグラフは、本ファンドの基準価額と参考指標の騰落率の対比です。

＜当期の基準価額と参考指標の対比（騰落率）＞



当期の本ファンドのパフォーマンスは－2.92％となった一方、参考指標のパフォーマンスは＋0.18％となりました。

今後の運用方針について

引き続き世界各国のリートに分散投資を行い、安定した配当収入の確保と信託財産の成長をめざします。

今後のリート市場の成長率は、従来と比較すると緩やかになると予想されますが、世界の不動産市況と需給環境は概ね良好であることなどから、今後も底堅く推移すると思われます。また、世界的に総じて低金利環境が続くなか、相対的に高い利回りを求め資金が引き続きリート市場に流入しており、同市場を下支えしています。とりわけ、米国経済に幅広く回復が見られることなどから、米国リート市場の見通しは明るいと考えています。当社は優良物件の賃料と価格は上昇すると予想しており、好立地に物件を構えるリートについては、賃料の上昇に伴い収益の改善による内部成長が見込まれます。主要先進国において概ね緩和的な金融政策が継続しているなか、今後もリート市場の利回りは総じて長期金利を上回る展開が考えられます。また、リートを対象にしたM＆Ａ（企業の合併・買収）が世界的に活発化していることもプラス材料と見ています。一方、最近では他の資産クラスと比べて、リート市場は金融市場やマクロ経済動向から相対的に大きな影響を受ける傾向が見られます。このため、米国をはじめとする世界の金利や、原油をはじめとする商品市況の動向などが懸念材料となれば、短期的に市場のボラティリティ（価格変動率）が上昇する展開が予想されます。

（上記見通しは2016年５月９日現在のものであり、今後、見通しは変更される可能性があります。）

本ファンドのデータ

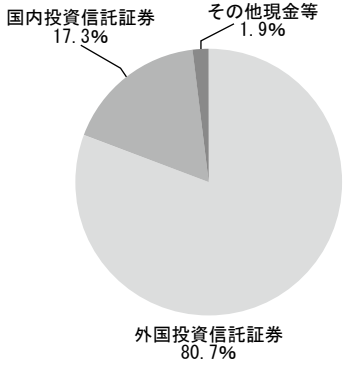
■本ファンドの組入資産の内容（2016年５月９日現在）

〇組入上位10銘柄

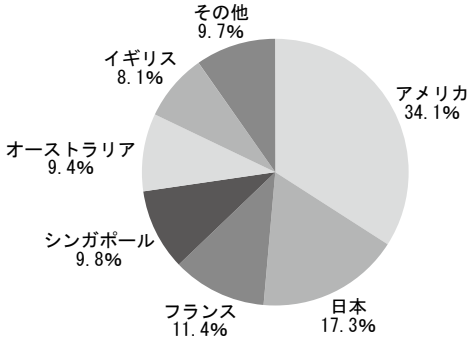
（組入銘柄数：47銘柄）

	銘柄	国	比率
1	ナショナル・リテール・プロパティーズ	アメリカ	7.6%
2	ＥＰＲプロパティーズ	アメリカ	5.2%
3	クレピエール	フランス	4.9%
4	リバティー・プロパティ・トラスト	アメリカ	4.5%
5	フォンシエール・デ・レジオン	フランス	3.7%
6	ブリティッシュ・ランド・カンパニー	イギリス	3.5%
7	ケネディクス商業リート投資法人	日本	3.3%
8	コンフォリア・レジデンシャル投資法人	日本	2.9%
9	ウニベイル・ロダムコ	フランス	2.8%
10	チャーター・ホール・グループ	オーストラリア	2.8%

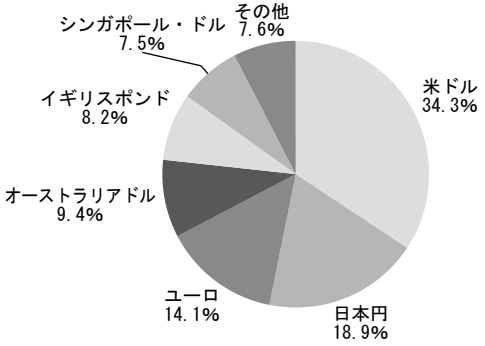
〇資産別配分



〇国別配分



〇通貨別配分



（注）上記の比率は全て本ファンドの純資産総額に対する割合です。

■１万口当たりの費用明細

項目	当期 2015年11月10日～2016年５月９日 金額	当期 2015年11月10日～2016年５月９日 比率	項目の概要
売買委託手数料	13円	0.095%	有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（投資信託証券）	(13)	(0.095)	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数
有価証券取引税	2	0.017	有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（投資信託証券）	(2)	(0.017)	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数
その他費用	1	0.011	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（保管費用）	(1)	(0.008)	海外資産等の海外保管銀行等に支払う保管・送金・受渡に係る費用
（その他）	(0)	(0.003)	証拠金利息の調整金額、支払外国税等
合計	16	0.123	
期中の平均基準価額は13,284円です。			

（注１）期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。
（注２）金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
（注３）比率欄は「１万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買及び取引の状況（2015年11月10日から2016年５月９日まで）

投資信託証券

		買 口数	買 金額	売 口数	売 金額
国内		口 6,053	千円 1,399,871	口 4,887	千円 1,054,325
外国	アメリカ	百口 2,064 (18)	千米ドル 5,316 (－)	百口 1,693 (1,038)	千米ドル 3,963 (2,666)
外国	カナダ	65	千カナダドル 145	132	千カナダドル 722
外国	ユーロ フランス	434	千ユーロ 3,024	97	千ユーロ 2,340
外国	ユーロ オランダ	141	699	－	－
外国	ユーロ スペイン	21	21	－ (－)	－ (7)
外国	イギリス	970	千英ポンド 577	2,914	千英ポンド 1,775
外国	オーストラリア	19,298	千オーストラリアドル 7,453	22,814	千オーストラリアドル 7,684
外国	香港	1,320	千香港ドル 762	18,140	千香港ドル 10,624
外国	シンガポール	24,514	千シンガポールドル 4,556	65,410 (－)	千シンガポールドル 7,266 (28)

（注１）金額は受渡し代金。
（注２）（ ）内は分割、合併、償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。
（注３）投資信託証券にはコーポレートアクションで付与された株式の割当および売却を含みます。

■主要な売買銘柄（2015年11月10日から2016年５月９日まで）

投資信託証券

当期					
買付			売付		
銘柄	口数	金額	銘柄	口数	金額
	千口	千円		千口	千円
STOCKLAND	882	315,842	UNIBAIL-RODAMCO SE	9	298,829
ASCENDAS REAL ESTATE INV TRT	1,287	260,209	SUN COMMUNITIES INC	36	295,454
フロンティア不動産投資法人	0.482	242,335	ASCENDAS REAL ESTATE INV TRT	1,335	271,977
FONCIERE DES REGIONS	22	225,441	ジャパンエクセレント投資法人	2.010	270,950
イオンリート投資法人	1.629	215,951	ABACUS PROPERTY GROUP	967	233,096
ケネディクス・レジデンシャル投資法人	0.709	205,763	トップリート投資法人	0.512	229,761
ケネディクス商業リート投資法人	0.686	192,875	DEXUS PROPERTY GROUP	316	207,162
ジャパンエクセレント投資法人	1.382	188,458	HAMMERSON PLC	222	206,038
HCP INC	43	187,152	MEDICAL PROPERTIES TRUST INC	130	178,988
CHARTER HALL GROUP	433	173,091	アドバンス・レジデンス投資法人	0.595	166,664

（注）金額は受渡し代金。

■利害関係人との取引状況等（2015年11月10日から2016年５月９日まで）

利害関係人との取引はありません。

（注）利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第１項に規定される利害関係人です。

■組入資産の明細（2016年５月９日現在）

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	当期末		
	口数	評価額	比率
不動産ファンド	口	千円	%
ケネディクス・レジデンシャル投資法人	709	214,118	2.2
コンフォリア・レジデンシャル投資法人	1,195	292,416	2.9
イオンリート投資法人	1,629	225,127	2.3
ケネディクス商業リート投資法人	1,097	323,066	3.3
日本リテールファンド投資法人	694	184,673	1.9
オリックス不動産投資法人	156	28,532	0.3
フロンティア不動産投資法人	383	213,331	2.1
トップリート投資法人	583	238,738	2.4
合計	6,446	1,720,004	〈17.3%〉

（注）比率欄は純資産総額に対する比率。

(2) ファンド・オブ・ファンズが組入れた外貨建ファンドの明細

ファンド名	当期末			
	口数	評価額		比率
		外貨建金額	邦貨換算金額	
不動産ファンド	百口	千米ドル	千円	%
（アメリカ…ニューヨーク市場）				
CARE CAPITAL PROPERTIES INC	359	984	105,762	1.1
DIGITAL REALTY TRUST INC	175	461	49,557	0.5
EPR PROPERTIES	679	4,791	514,822	5.2
GENL GROWTH PROPERTIES	534	1,448	155,636	1.6
HCP INC	439	1,518	163,167	1.6
HOSPITALITY PROPERTIES TRUST	519	1,368	147,063	1.5
LIBERTY PROPERTY TRUST	1,156	4,179	449,065	4.5
NATL HEALTH INVESTORS INC	354	2,475	265,984	2.7
NATIONAL RETAIL PROPERTIES	1,481	6,987	750,853	7.6
OMEGA HEALTHCARE INVESTORS	453	1,528	164,238	1.7
SL GREEN REALTY CORP	511	1,359	146,056	1.5
SENIOR HOUSING PROP TRUST	969	1,800	193,446	1.9
TAUBMAN CENTERS INC	354	936	100,663	1.0
WP GLIMCHER INC	1,492	1,677	180,240	1.8
小計	9,482	31,517	3,386,559	〈34.1%〉
（カナダ…トロント市場）		千カナダドル		
COMINAR REAL ESTATE INV-TR U	490	827	68,695	0.7
DREAM OFFICE REAL ESTATE INV	389	787	65,374	0.7
H&R REAL ESTATE INV-REIT UTS	711	1,519	126,096	1.3
RIOCAN REAL ESTATE INVESTMENT TRUST	609	1,676	139,189	1.4
小計	2,200	4,811	399,355	〈 4.0%〉

ファンド名	当期末			
	口数	評価額		比率
		外貨建金額	邦貨換算金額	
（ユーロ…フランス）	百口	千ユーロ	千円	%
FONCIERE DES REGIONS	368	3,014	368,586	3.7
KLEPIERRE	966	3,974	486,102	4.9
UNIBAIL-RODAMCO SE	98	2,310	282,511	2.8
小計	1,433	9,299	1,137,200	<11.4%>
（ユーロ…オランダ）				
WERELDHAVE NV	329	1,485	181,642	1.8
小計	329	1,485	181,642	< 1.8%>
（ユーロ…スペイン）				
MERLIN PROPERTIES SOCIMI SA	721	699	85,518	0.9
小計	721	699	85,518	< 0.9%>
ユーロ計	2,484	11,483	1,404,361	<14.1%>
（イギリス…英国市場）		千英ポンド		
BRITISH LAND CO PLC	3,111	2,269	351,474	3.5
DERWENT LONDON PLC	105	351	54,373	0.5
BIG YELLOW GROUP PLC	1,555	1,299	201,220	2.0
HAMMERSON PLC	2,244	1,305	202,172	2.0
小計	7,016	5,225	809,240	< 8.1%>
（オーストラリア…オーストラリア市場）		千オーストラリアドル		
CHARTER HALL GROUP	7,054	3,519	278,570	2.8
GPT GROUP	3,330	1,732	137,078	1.4
MIRVAC GROUP	16,595	3,227	255,448	2.6
STOCKLAND	5,982	2,715	214,936	2.2
WESTFIELD CORP	586	615	48,684	0.5
小計	33,549	11,810	934,719	< 9.4%>
（香港…香港市場）		千香港ドル		
SPRING REAL ESTATE INVESTMEN	23,270	7,841	108,611	1.1
FORTUNE REIT	20,690	17,586	243,573	2.5
小計	43,960	25,428	352,184	< 3.5%>
（シンガポール…シンガポール市場）		千シンガポールドル		
FIRST REAL ESTATE INVESTMENT TRUST	10,549	1,297	102,232	1.0
CAPITALAND COMMERCIAL TRUST	9,076	1,275	100,471	1.0
MAPLETREE GREATER CHINA COMM	13,940	1,338	105,439	1.1
CAMBRIDGE INDUSTRIAL TRUST	43,627	2,312	182,180	1.8
ASCENDAS REAL ESTATE INV TRT	12,877	3,103	244,513	2.5
小計	90,069	9,326	734,837	< 7.4%>
合計	188,762	－	8,021,258	<80.7%>

（注１）邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により、邦貨換算したものです。
（注２）比率欄は純資産総額に対する比率。

■投資信託財産の構成　　2016年５月９日現在

項目	当期末 評価額	当期末 比率
	千円	%
投資証券	9,741,262	98.0
コール・ローン等、その他	193,488	2.0
投資信託財産総額	9,934,750	100.0

（注１）当期末における外貨建純資産（8,060,754千円）の投資信託財産総額（9,934,750千円）に対する比率は81.1％です。
（注２）外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により、邦貨換算したものです。なお決算日における邦貨換算レートは１米ドル＝107.45円、１カナダドル＝83.00円、１ユーロ＝122.29円、１英ポンド＝154.87円、１オーストラリアドル＝79.14円、１ニュージーランドドル＝73.44円、１香港ドル＝13.85円、１シンガポールドル＝78.79円です。

■資産、負債、元本及び基準価額の状況

項目	当期末 2016年５月９日
(A) 資産	**9,934,750,210円**
コール・ローン等	139,552,654
投資証券(評価額)	9,741,262,397
未収入金	1,475,069
未収配当金	52,460,090
(B) 負債	**624,668**
未払解約金	624,290
未払利息	378
(C) 純資産総額(A－B)	**9,934,125,542**
元本	7,480,415,612
次期繰越損益金	2,453,709,930
(D) 受益権総口数	**7,480,415,612口**
1万口当たり基準価額(C／D)	**13,280円**

■損益の状況

項目	当期 自 2015年11月10日 至 2016年５月９日
(A) 配当等収益	**266,416,579円**
受取配当金	266,326,676
受取利息	8,290
その他収益金	91,364
支払利息	△ 9,751
(B) 有価証券売買損益	**△ 585,643,106**
売買益	768,348,907
売買損	△1,353,992,013
(C) 信託報酬等	**△ 1,084,005**
(D) 当期損益金(A＋B＋C)	**△ 320,310,532**
(E) 前期繰越損益金	**2,906,080,631**
(F) 追加信託差損益金	**124,525,723**
(G) 解約差損益金	**△ 256,585,892**
(H) 計 (D＋E＋F＋G)	**2,453,709,930**
次期繰越損益金(H)	**2,453,709,930**

（注１）損益の状況の中で**(B)有価証券売買損益**は期末の評価換えによるものを含みます。
（注２）損益の状況の中で**(F)追加信託差損益金**とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差引いた差額分をいいます。
（注３）損益の状況の中で**(G)解約差損益金**とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差引いた差額分をいいます。
（注４）期首元本額は7,896,315,169円、当作成期間中において、追加設定元本額は379,632,518円、同解約元本額は795,532,075円です。
（注５）元本の内訳　ＧＳグローバルＲＥＩＴポートフォリオ（毎月分配型）　6,794,763,124円
ＧＳ世界分散ファンド（毎月決算型）　372,648,294円
ＧＳ　ダイバーシファイド・ベータ・ポートフォリオ（適格機関投資家専用）　210,539,783円
ＧＳグローバル・ダイバーシファイドＶＡ（適格機関投資家専用）　102,464,411円